



神奈川県立鶴見支援学校  
地域連携グループ・進路チーム NO. 2  
令和8年6月30日発行

梅雨の不安定な気候が続くにもかかわらず、児童生徒のみなさんは、それぞれの場所で成長の一步を踏んでいます。今回の「進路だより」では、高等部の実習や中学部の作業学習の様子などについてお知らせします。

## 実習の様子（本校）

6月に入り、高等部2年では校内実習が始まりました。実習は卒業後の生活を想定し、時間を守ることや清潔に気を付けること、手順表などのツールの活用、「報告・連絡・相談」に重点を置いて取り組みました。毎日仕事に取り組むことで継続力がついたり、困った場面で「どうすればいいですか」と聞きに来られるようになったりしました。また高等部3年の現場実習は、通勤練習や校内での面接練習を積み、緊張しながらも張り切った様子で出かけて行きます。プレッシャーのかかる時期ですが、実習を通して一回り成長した姿を見られることを期待しています。

## 実習の様子（分教室）

6月8日（月）から6月26日（金）の期間で校内実習に取り組みました。会社での実習を想定して「株式会社 KSBN」という会社名3課に分かれて行っています。1課は神社のお札やお守りを入れる封筒に「上」を押す作業ですが、真っすぐにきれいに押すために練習をしてから封筒に押しています。2課は、ボールペンの箱詰めや組み立てを行い、2日で1000本納品するペースで行っています。3課は高校の体育祭で使ったハチマキや帽子の洗濯、校内整備、エコたわし作成をしています。3週目には高校の図書室の蔵書点検を行います。1年生は、全てが初めてで、特に報・連・相は緊張しながら目標をもち取り組んでいます。2年生、3年生は現場実習もあるので、毎日忙しく生徒も教員も過ごしています。

## 中学部の作業学習について

中学部の作業学習では、高等部での学習を見据え、報告する力や一定時間集中して作業に取り組む力など、基礎的な力の育成を目標としております。中学部2・3年生は、連休明けより合同で縦割りの作業班を編成し、学習に取り組んでいます。作業班は4つに分かれており、メモ帳や連絡帳の作成を行う製作班、靴下の端切れを用いた編み物や裂き織りに取り組む手工芸班、牛乳パックからはがきを作る紙工班、モップやスクイジーを使用して校内清掃を行う清掃班があります。今年度は、昨年度と異なる教室や作業内容でのスタートとなりました。当初は慣れない環境に戸惑いや緊張した様子も見られましたが、徐々に新しい環境にも慣れ、落ち着いて作業に取り組む姿や、集中して活動に向かう様子が見られるようになってきています。

## 夏季進路行事について

夏季休業中には、さまざまな進路行事が予定されています。  
様子については、次号以降でお知らせいたします。

- 企業見学会（保護者向け）
- 職業相談会（ハローワーク登録）
- アフターフォロー（卒後3年間）
- 夏季公開研修
- 事業所見学

